2022年版・環境活動レポート

（対象期間　2021年10月　～　2022年9月）

2023年1月19日 発行
（2023年12月訂正）
（株）富士インダストリーズ

環境経営方針

≪基本理念≫

当社の事業活動が地域及び次世代の環境に及ぼす影響を常に考え、住み良い地域環境と
地球環境の実現のため、経営のあらゆる面で環境に配慮して行動する。

≪基本方針≫

株式会社富士インダストリーズは、地域性及び環境への関連を考慮し、以下の環境方針を定め、
全ての事業活動を通じて、その実現に取り組みます。

1、事業を通じた地球環境保護
　全ての事業活動において、地球環境保護に寄与できるよう努めます。
　当社の仕入販売において、安全に配慮した上で環境負荷の少ない手段で
　製品・サービスを提供する。

2、資源・エネルギーの効率的利用
　資源・エネルギーの消費や廃棄物の排出状況等をチェックし、環境への負荷を認識し、
　省資源、省エネルギー、リサイクル、そしてグリーン購入に努めます。

3、環境関連法規の遵守
　環境関連の諸法規及び当社が同意した各種協定を遵守します。

4、継続的環境改善の実施
　環境保全に関する目的・目標を設定し、取組結果を見直すことにより、継続的な
　環境改善に取り組みます。
　　① 省資源、省エネルギーの推進 ［CO2排出抑制］
　　② 廃棄物の削減
　　③ 水・電気・ガス使用量の削減

5、環境啓発活動と地域・社会貢献活動の推進
　環境活動レポートを公表する等、社内外に対して環境保護に関する情報の提供を行い
　また、啓発、教育活動を推進するとともに、地域社会の一員として地域・社会貢献活動の
　推進に努めます。

6、環境保護事業への参入
　当社の基本理念に沿った環境保護に積極的な企業への出資・販売協力を推進します。

令和元年12月26日
株式会社富士インダストリーズ
理事　宮田 英正

【2】事業概要

1. 会社概要

①会社名　：㈱富士インダストリーズ
②代表者名　：理事　宮田 英正
③ECO21対象範囲　：　神戸本社　：　神戸市中央区明石町32 明海ビル9階
東京支店　：　東京都港区新橋2丁目５－５　新橋2丁目MTビル
中部支店　：　名古屋市中区栄1-2-7名古屋東宝ビル3階
宇都宮営業所　：　栃木県宇都宮市不動前2丁目2－33 スズキビルⅢ2-C
大阪営業所　：　大阪市北区梅田1-3-1 大阪駅前第1ビル 6階
各務原営業所　：　各務原市蘇原三柿野町299－33　多賀ビル2階
④本社　：神戸本社
⑤設立　：1949年6月
⑥資本金　：9900万円（全社）
⑦売上額　：14,351百万円　（2022年9月期）（全社）
⑧従業員数　：114名　（神戸本社48名、東京支店29名、中部支店37名）
⑨地域指定　：商業地域
⑩敷地面積　：神戸本社1,894.82㎡、東京支店794.24㎡、中部支店2,410.82㎡
大阪営業所8,440㎡、宇都宮営業所600.33㎡
⑪建物面積　：賃貸床面積　神戸本社627㎡、東京支店532㎡、中部支店462㎡
大阪営業所108㎡、宇都宮営業所59.62㎡
○環境管理責任者　：高嶋　茂
○連絡先　：TEL　078-331-2521　、　FAX　078-332-1485
○メールアドレス　：s.takashima@ficjpn.co.jp

2. 沿　革

1946年5月　：　創業者 仲野至道の個人経営による機械工具類の製造販売により創業
1949年6月　：　株式会社組織に改めるとともに、輸出入業に移行
1956年5月　：　東京支店開設
1959年5月　：　ニューヨークに子会社として米国法人FUJI INDUSTRIES CORP.を設立
1986年1月　：　株式会社富士インダストリーズと称号を変更
1995年1月　：　阪神淡路大震災で本社ビルが全壊するも、1ヵ月半後に通常業務に戻る
2006年8月　：　東京支店現在地に移転
2011年5月　：　バンコックに関連会社としてタイ法人SIAM FUJI INDUSTRIES CO., LTD.を設立
2015年7月　：　ロンドンに子会社として英国法人FUJI INDUSTRIES UK LTD. を設立

3. 製品概要

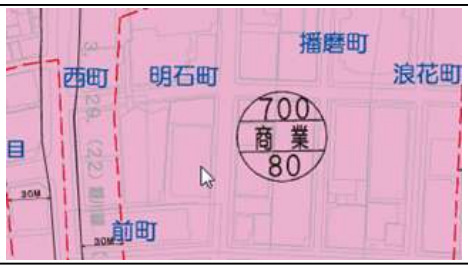
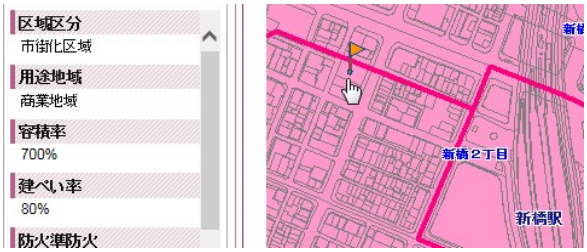
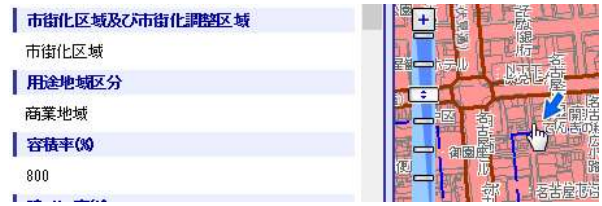
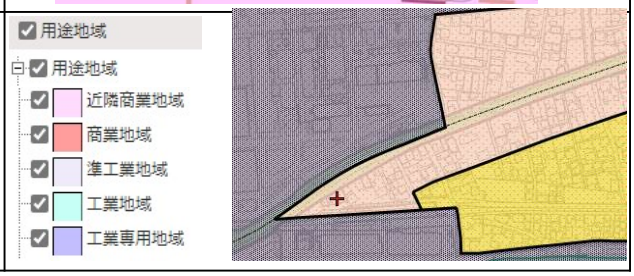
◇航空機用部品、材料等の輸入
◇ワインの輸入販売

4. 事業形態

(1)事業年度　：　10月　～　翌年9月
(2)年間稼働日数　：　242日
(3)就業形態　：　1シフト
(4)就業時間　：　9:00～17:30（神戸本社）、9:15～17:45（東京支店、中部支店）
（7．5時間労働）

【3】敷地概要

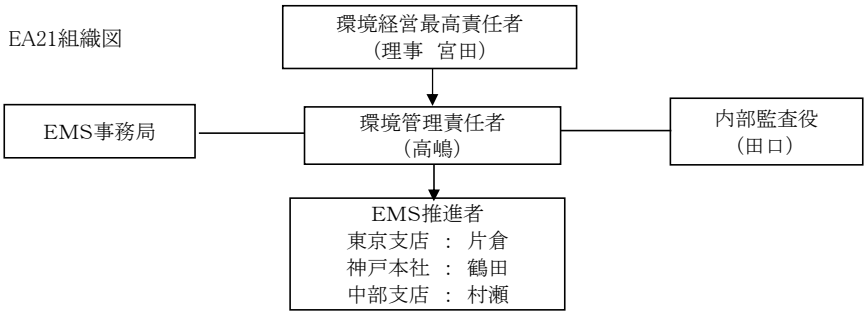
◇都市計画法での用途地域指定 ： 商業地域

神戸本社 商業地域		
東京支店 商業地域		
中部支店 商業地域		
宇都宮営業所 準工業地域		
大阪営業所 商業地域		
各務原営業所 商業地域		

【4】エコアクション21実施体制の構築

(1) 支店長は環境経営システムを運用・実施・維持する体制を構築する。
毎年11月に次年度の活動および計画を策定する。

EA21組織図



（東京支店）

［様式-４］

2022年9月期 環境目標及び環境活動実施計画書

χ：目標の達成度
○：100%≦χ
△：70%≦χ＜100%
×：χ＜70%

2022/12/28

承　認	点　検	作　成
高嶋	小林	片倉

項目	環境目的（環境方針）	課　題（何を）	具体的方法（どのように）	2019年度実績を基準(BM)とした達成基準(どこまで) 基準(BM) 2019年度実績	目標 2021年度9月期	目標 2022年度9月期	目的 2023年度9月期	責任者（誰が）	目標／実績	日程（いつまでに） 第１四半期 10月	11月	12月	評価	第２四半期 1月	2月	3月	評価	第３四半期 4月	5月	6月	評価	第４四半期 7月	8月	9月	評価
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・排出ごみの分別を徹底する。 ・鞄を活用してレジ袋を削減。	17820L	1%削減（17642Ｌ）	1%削減（17642Ｌ）	1%削減（17642Ｌ）	片倉	目標	4410 L		64%	X	4410 L		58%	X	4410 L		52%	X	4410 L		39%	X
									実績	5,985 L		ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照		6,255 L		ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照		5,805 L		ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照		6,300 L		ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照	
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙（バージン紙）	・両面コピー・縮小コピー使用の徹底 ・Web会議、ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ利用の促進 ・電子承認システムの適用範囲拡大（各種申請、出張報告などの電子化）	1624kg/年	目標維持（1624kg）	目標維持（1624kg）	目標維持（1624kg）	片倉	目標	406Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用		0	406Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用		0	406Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用		0	406Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用		0
									実績	200Kg		151%		160Kg		161%		240Kg		141%		200Kg		151%	
	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示した。 ・トイレ擬似音の活用	－	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	片倉	目標	節水表示の徹底				節水表示の徹底				節水表示の徹底				節水表示の徹底			
									実績																
省エネ	電気使用量の削減 二酸化炭素排出量の削減	事務所電気の使用	１）室内不在時、昼休み時の消灯励行 ２）使用しないパソコン等の電源OFF徹底 ３）省エネパソコンへの代替を引続き進める。 ４）照明の一部で間引きを継続する。	65576kwh/年	目標維持（65576kg）	目標維持（65576kg）	目標維持（65576kg）	片倉	目標	16,394 kwh		99%	△	16,394 kwh		92%	△	16,394 kwh		105%	0	16,394 kwh		71%	△
									実績	16,584 kwh		ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照		17,715 kwh		ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照		15,495 kwh		ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照		21,073 kwh		ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照	
	ガス使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所冷暖房の使用	１）冷暖房の適正温度厳守 （冷房：２８℃、暖房：２２℃） 期間　冷房6月～9月 暖房12月～3月 ２）カジュアルフライデーの通年化 ３）社用車の適正な利用を促進	13373㎥/年	目標維持（13373㎥）	目標維持（13373㎥）	目標維持（13373㎥）	片倉	目標	2,277 ㎥		105%	0	3,206 ㎥		142%	0	2,006 ㎥		140%	0	5,884 ㎥		155%	0
									実績	2,152 ㎥		ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照		1,871 ㎥		ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照		1,200 ㎥		ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照		2,641 ㎥		ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照	
	輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	１）クレーム台帳への記入、管理（クレーム台帳の電子化済み）	2.170%	目標維持（2.170%）	目標維持（2.170%）	目標維持（2.170%）	片倉	目標	2.17 %		52%	X	2.17 %		58%	X	2.17 %		21%	X	2.17 %		79%	△
									実績	3.210 %				3.080 %				3.880 %				2.620 %			
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	社内システムにSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	片倉	目標	実施				実施				実施				実施			
									実績																
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業者への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・EMS関連教育の実施 ・緊急事態対応訓練・教育 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	１００％受講	１００％受講	１００％受講	片倉	目標																
									実績																

	環境経営最高責任者コメント欄	〈コメント〉	〈コメント〉	〈コメント〉	〈コメント〉
上期	取引先への訪問活動が徐々に解除され、ガソリン消費も増えた月があった。	昨年よりも廃棄量が多い。昨年在宅勤務期間だったこともあり紙使用量が増えたためと考えられる。 照査：環境管理責任者	昨年よりも廃棄量、ガス電気使用量が多い。昨年の在宅勤務期間に比べ出社日が増えたためと考えられる。 照査：環境管理責任者	昨年よりも廃棄量が多い。 照査：環境管理責任者	コピー用紙の使用量が削減されているが、依然として廃棄量が多い。書類電子化が進んでいる一方で一般廃棄物の量を抑える必要がある。 照査：環境管理責任者
年度	廃棄量やガス・電気使用量の増加要因が在宅勤務より出社勤務が増えたことによるものであれば、来期の目標値は出社勤務前提で設定すること。				

（中部支店）

［様式-４］

2022年9月期 環境目標及び環境活動実施計画書

χ：目標の達成度
○：100%≦χ
△：70%≦χ＜100%
×：χ＜70%

2022/12/28

承　認	点　検	作　成
高嶋	小林	村瀬

項目	環境目的（環境方針）	課　題（何を）	具体的方法（どのように）	2017年9月を基準(BM)とした達成基準(どこまで) 基準(BM) 2019年9月期	目標 2021年度9月期	目標 2022年度9月期	目的 2023年度9月期	責任者(誰が)	目標／実績	日程（いつまでに） 第１四半期 10月	11月	12月	評価	第２四半期 1月	2月	3月	評価	第３四半期 4月	5月	6月	評価	第４四半期 7月	8月	9月	評価
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・カタログ、新聞紙等の廃棄物の分別を開始し、リサイクルに取り組む事で廃棄物を減少させる ・ペットボトルの分別を徹底する	795Kg	目標維持(787kg)	目標維持(787kg)	目標維持(787kg)	村瀬	目標	193 kg		98%	△	193 kg		98%	△	193 kg		98%	△	193 kg		103%	0
									実績	196 kg		エネルギー管理表参照		196 kg		エネルギー管理表参照		196 kg		エネルギー管理表参照		187 kg		エネルギー管理表参照	
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙（バージン紙）	・裏紙の再利用 ・電子承認システムの適用範囲拡大（各種申請、出張報告などの電子化）	2095kg/年	目標維持(2095kg)	目標維持(2095kg)	目標維持(2095kg)	村瀬	目標	524Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用		0	524Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用		0	524Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用		0	524Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用		0
									実績	211Kg		160%		420Kg		120%		200Kg		162%		460Kg		112%	
	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示した。 ・トイレ擬似音の活用	－	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	村瀬	目標	節水表示の徹底				節水表示の徹底				節水表示の徹底				節水表示の徹底			
									実績																
省エネ	電気使用量の削減 二酸化炭素排出量の削減	事務所電気の使用	・照明の一部で間引きを継続する。（窓際のダウンライトを間引き） ・使用していないパソコン、ディスプレイ等の電源OFF励行	33746kwh/年	目標維持(33746kwh)	目標維持(33746kwh)	目標維持(33746kwh)	村瀬	目標	8,437 kwh		91%	△	8,437 kwh		100%	△	8,437 kwh		93%	△	8,437 kwh		85%	△
									実績	9,187 kwh		エネルギー管理表参照		8,458 kwh		エネルギー管理表参照		9,029 kwh		エネルギー管理表参照		9,668 kwh		エネルギー管理表参照	
	ガス使用量の削減 二酸化炭素排出量の削減	事務所冷暖房の使用	・冷暖房の適正温度厳守 （冷房：２８℃、暖房：２２℃） 期間　冷房6月～9月 暖房12月～3月 ・使用していない部屋の冷暖房節約	5752㎥/年	目標維持(5752㎥)	目標維持(5752㎥)	目標維持(5752㎥)	村瀬	目標	575 ㎥		14%	X	1,150 ㎥		106%	0	1,265 ㎥		115%	0	2,761 ㎥		108%	0
									実績	1,068 ㎥		エネルギー管理表参照		1,077 ㎥		エネルギー管理表参照		1,073 ㎥		エネルギー管理表参照		2,535 ㎥		エネルギー管理表参照	
	輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	・クレーム台帳への記入、管理（クレーム台帳の電子化済み） ・社用車の新型更新を行う	5.316%	目標維持(5.316%)	目標維持(5.316%)	目標維持(5.316%)	村瀬	目標	5.316 %		116%	0	5.316 %		83%	△	5.316 %		49%	X	5.316 %		78%	△
									実績	4.47 %				6.21 %				8.03 %				6.510 %			
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	社内システムにSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。			村瀬	目標	実施				実施				実施				実施			
									実績																
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業者への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・JIS-Q-9100の教育推進	－	１００％受講			村瀬	目標																
									実績																

	環境経営最高責任者コメント欄	〈コメント〉	〈コメント〉	〈コメント〉	〈コメント〉
上期	IT機器の活用が進むにつれて省資源への取り組みも進んできている。	コロナ禍という事で、換気を兼ね、空調をつける機会が増え、ガスの使用量が増えている。目標設定の変更が必要かと思われる。 照査：環境管理責任者	コピー用紙の使用量が削減されてきている。今までよりは不要なコピーを出さないなどの努力が見られる。 照査：環境管理責任者	クレーム、不具合率が増えて来ている。クレームを出さない工夫が必要と思われる。 照査：環境管理責任者	電気の使用量が変わらずに多くなっている。特に夏の時期は増加すあるため、目標設定の最高が必要だと思われる。 照査：環境管理責任者
年度	コピー用紙購入量を年間通して削減できたことは、ペーパーレス化が進んだことによる良い結果でもあり、それを前提とした目標値を設定し、今後も達成できるよう確認すること。				

（神戸本社）

［様式-４］

2022年9月期 環境目標及び環境活動実施計画書

χ：目標の達成度
○：100%≦χ
△：70%≦χ＜100%
×：χ＜70%

2022/12/28

承　認	点　検	作　成
高嶋	小林	鶴田

項目	環境目的（環境方針）	課　題（何を）	具体的方法（どのように）	2019年9月の平均を基準(BM)とした達成基準(どこまで) 基準(BM) 2019年度9月期	目標 2021年度9月期	目標 2022年度9月期	目的 2023年度9月期	責任者（誰が）	目標／実績	日程（いつまでに） 第１四半期 10月	11月	12月	評価	第２四半期 1月	2月	3月	評価	第３四半期 4月	5月	6月	評価	第４四半期 7月	8月	9月	評価
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・カタログ、新聞紙等の廃棄物の分別を開始し、リサイクルに取り組む事で廃棄物を減少させる	897kg/年	目標維持（897Kg）	目標維持（897Kg）	目標維持（897Kg）	鶴田	目標	224 Kg		101%	0	224 Kg		101%	0	224 Kg		97%	△	224 Kg		99%	△
									実績	222 Kg		エネルギー管理表参照		222 Kg		エネルギー管理表参照		230 Kg		エネルギー管理表参照		227 Kg		エネルギー管理表参照	
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙（バージン紙）	・裏紙の再利用 ・電子承認システムの適用範囲拡大（各種申請、出張報告などの電子化） ・プロジェクタ使用やWeb会議の更なる活用によりペーパーレス化を全社推進	1775kg/年	目標維持（1775Kg）	目標維持（1775Kg）	目標維持（1775Kg）	鶴田	目標	444Kg		紙類の削減使用済み封筒の再利用	0	444Kg		紙類の削減使用済み封筒の再利用	0	443.63Kg		紙類の削減使用済み封筒の再利用	0	443.6Kg		紙類の削減使用済み封筒の再利用	0
									実績	120Kg		173%		120Kg		173%		160Kg		164%		120Kg		173%	
	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示 ・トイレ擬似音の活用	－	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	鶴田	目標	節水表示の徹底				節水表示の徹底				節水表示の徹底				節水表示の徹底			
									実績																
省エネ	電気使用量の削減 二酸化炭素排出量の削減	事務所電気の使用	・コストだけではなくエコにつながる機器の導入 ・空調の適温化（冷房28度程度、暖房22度程度） ・社用車の代替	46448kwh/年	目標維持（46448Kwh）	目標維持（46448Kwh）	目標維持（46448Kwh）	鶴田	目標	11,612 kwh		97%	△	11,612 kwh		115%	0	11,612 kwh		89%	△	11,612 kwh		58%	X
									実績	11,917 kwh		エネルギー管理表参照		9,887 kwh		エネルギー管理表参照		12,880 kwh		エネルギー管理表参照		16,523 kwh		エネルギー管理表参照	
	輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	・クレーム台帳への記入、管理（クレーム台帳の電子化済み）	11.29%	目標維持（11.29%）	目標維持（11.29%）	目標維持（11.29%）	鶴田	目標	11.29 %		169%	0	11.29 %		165%	0	11.29 %		178%	0	11.29 %		174%	0
									実績	3.51 %				3.93 %				2.53 %				2.90 %			
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	社内システムにSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	鶴田	目標	実施				実施				実施				実施			
									実績																
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業者への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	１００％受講	１００％受講	１００％受講	鶴田	目標																
									実績																

	環境経営最高責任者コメント欄	〈コメント〉	〈コメント〉	〈コメント〉	〈コメント〉
上期	コロナ感染防止対策に伴う電気使用量の増加が見られたが、リサイクル・省エネを意識した環境活動を継続すること。	電気使用量の増加について、コロナウイルスの換気を行っており室温調整をしたことが原因とみられる。目標設定は時期によって変更する可能性はあるのか検討。 照査：環境管理責任者	全ての目標数値について、達成している。引き続き継続したい。 照査：環境管理責任者	第一四半期同様、電気使用量の増加と廃棄物の増加が見受けられる。6月に産業廃棄物処理をしたことが原因かと考える。 照査：　環境管理責任者	季節的に電気使用量が一番多い時期となった。第4半期のみの目標設定を検討したい。 照査：環境管理責任者
年度	電気使用量が増加した要因として、時差出勤や会議室の利用頻度増加による補助空調の利用増もあると考えられ、利用時の適温設定や利用後の運転停止をこまめに行うことなどを奨励すること。				

（東京支店）

［様式-４］

2023年9月期 環境目標及び環境活動実施計画書

χ：目標の達成度
○：100%≦χ
△：70%≦χ＜100%
×：χ＜70%

2023/1/19

承　認	点　検	作　成
高嶋	小林	片倉

項目	環境目的（環境方針）	課　題（何を）	具体的方法（どのように）	2022年度実績を基準(BM)とした達成基準(どこまで) 基準(BM) 2022年度実績	目標 2023年度9月期	目標 2024年度9月期	目的 2025年度9月期	責任者（誰が）	目標／実績	日程（いつまでに） 第１四半期 10月	11月	12月	評価	第２四半期 1月	2月	3月	評価	第３四半期 4月	5月	6月	評価	第４四半期 7月	8月	9月	評価
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・排出ごみの分別を徹底する。 ・鞄を活用してレジ袋を削減。	23845L	目標維持（23845Ｌ）	目標維持（23845Ｌ）	目標維持（23845Ｌ）	片倉	目標	5961 L		200%		5961 L		200%		5961 L		200%		5961 L		200%	
									実績		L	ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照			L	ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照			L	ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照			L	ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照	
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙（バージン紙）	・両面コピー・縮小コピー使用の徹底 ・Web会議、ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ利用の促進 ・電子承認システムの適用範囲拡大（各種申請、出張報告などの電子化）	800kg/年	目標維持（800kg）	目標維持（800kg）	目標維持（800kg）	片倉	目標	200Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用			200Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用			200Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用			200Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用		
									実績		200%				200%				200%				200%		
	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示した。 ・トイレ擬似音の活用	－	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	片倉	目標	節水表示の徹底				節水表示の徹底				節水表示の徹底				節水表示の徹底			
									実績																
省エネ	電気使用量の削減 二酸化炭素排出量の削減	事務所電気の使用	１）室内不在時、昼休み時の消灯励行 ２）使用しないパソコン等の電源OFF徹底 ３）省エネパソコンへの代替を引続き進める。 ４）照明の一部で間引きを継続する。	68815kwh/年	目標維持（68815kg）	目標維持（68815kg）	目標維持（68815kg）	片倉	目標	17,204 kwh		200%		17,204 kwh		200%		17,204 kwh		200%		17,204 kwh		200%	
									実績		kwh	ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照			kwh	ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照			kwh	ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照			kwh	ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照	
	ガス使用量の削減 二酸化炭素排出量の削減	事務所冷暖房の使用	１）冷暖房の適正温度厳守 （冷房：２８℃、暖房：２２℃） 期間　冷房6月～9月 暖房12月～3月 ２）カジュアルフライデーの通年化 ３）社用車の適正な利用を促進	9198㎥/年	目標維持（9198㎥）	目標維持（9198㎥）	目標維持（9198㎥）	片倉	目標	1,840 ㎥		200%		2,759 ㎥		200%		1,380 ㎥		200%		3,219 ㎥		200%	
									実績		㎥	ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照			㎥	ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照			㎥	ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照			㎥	ｴﾈﾙｷﾞｰ管理表参照	
	輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	１）クレーム台帳への記入、管理（クレーム台帳の電子化済み）	3.20%	目標維持（3.20%）	目標維持（3.20%）	目標維持（3.20%）	片倉	目標	3.20 %		200%		3.20 %		200%		3.20 %		200%		3.20 %		200%	
									実績		%				%				%				%		
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	社内システムにSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	片倉	目標	実施				実施				実施				実施			
									実績																
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業者への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・EMS関連教育の実施 ・緊急事態対応訓練・教育 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	１００％受講	１００％受講	１００％受講	片倉	目標																
									実績																

	環境経営最高責任者コメント欄	〈コメント〉	〈コメント〉	〈コメント〉	〈コメント〉
上期		照査：環境管理責任者	照査：環境管理責任者	照査：環境管理責任者	照査：環境管理責任者
年度	環境経営最高責任者コメント欄				

（中部支店）

［様式-４］

2023年9月期 環境目標及び環境活動実施計画書

χ：目標の達成度
○：100%≦χ
△：70%≦χ＜100%
×：χ＜70%

2023/1/19

承　認	点　検	作　成
高嶋	小林	村瀬

項目	環境目的（環境方針）	課　題（何を）	具体的方法（どのように）	2022年9月を基準(BM)とした達成基準(どこまで) 基準(BM) 2022年9月期	目標 2023年度9月期	目標 2024年度9月期	目的 2025年度9月期	責任者(誰が)	目標／実績	日程（いつまでに） 第１四半期 10月	11月	12月	評価	第２四半期 1月	2月	3月	評価	第３四半期 4月	5月	6月	評価	第４四半期 7月	8月	9月	評価
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・カタログ、新聞紙等の廃棄物の分別を開始し、リサイクルに取り組む事で廃棄物を減少させる ・ペットボトルの分別を徹底する	775Kg	目標維持(775kg)	目標維持(775kg)	目標維持(775kg)	村瀬	目標	194 kg		200%		194 kg		200%		194 kg		200%		194 kg		200%	
									実績		kg	エネルギー管理表参照			kg	エネルギー管理表参照			kg	エネルギー管理表参照			kg	エネルギー管理表参照	
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙（バージン紙）	・裏紙の再利用 ・電子承認システムの適用範囲拡大（各種申請、出張報告などの電子化）	1291kg/年	目標維持(1291kg)	目標維持(1291kg)	目標維持(1291kg)	村瀬	目標	323Kg	紙類の削減使用済み封筒の再利用			323Kg	紙類の削減使用済み封筒の再利用			323Kg	紙類の削減使用済み封筒の再利用			323Kg	紙類の削減使用済み封筒の再利用		
									実績		200%				200%				200%				200%		
	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示した。 ・トイレ擬似音の活用	―	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	村瀬	目標	節水表示の徹底				節水表示の徹底				節水表示の徹底				節水表示の徹底			
									実績																
省エネ	電気使用量の削減 二酸化炭素排出量の削減	事務所電気の使用	・照明の一部で間引きを継続する。（窓際のダウンライトを間引き） ・使用していないパソコン、ディスプレイ等の電源OFF励行	36342kwh/年	目標維持(36342kwh)	目標維持(36342kwh)	目標維持(36342kwh)	村瀬	目標	9,086 kwh		200%		9,086 kwh		200%		9,086 kwh		200%		9,086 kwh		200%	
									実績		kwh	エネルギー管理表参照			kwh	エネルギー管理表参照			kwh	エネルギー管理表参照			kwh	エネルギー管理表参照	
	ガス使用量の削減 二酸化炭素排出量の削減	事務所冷暖房の使用	・冷暖房の適正温度厳守 （冷房：２８℃、暖房：２２℃） 期間　冷房6月～9月 暖房12月～3月 ・使用していない部屋の冷暖房節約	5753㎥/年	目標維持(5753㎥)	目標維持(5753㎥)	目標維持(5753㎥)	村瀬	目標	575 ㎥		200%		1,151 ㎥		200%		1,266 ㎥		200%		2,761 ㎥		200%	
									実績		㎥	エネルギー管理表参照			㎥	エネルギー管理表参照			㎥	エネルギー管理表参照			㎥	エネルギー管理表参照	
	輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	・クレーム台帳への記入、管理（クレーム台帳の電子化済み） ・社用車の新型更新を行う	6.31%	目標維持(6.31%)	目標維持(6.31%)	目標維持(6.31%)	村瀬	目標	6.31 %		200%		6.31 %		200%		6.31 %		200%		6.31 %		200%	
									実績		%				%				%				%		
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	社内システムにSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。			村瀬	目標	実施				実施				実施				実施			
									実績																
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業者への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	１００％受講			村瀬	目標																
									実績																

	環境経営最高責任者コメント欄	〈コメント〉	〈コメント〉	〈コメント〉	〈コメント〉
上期					
年度		照査：環境管理責任者	照査：環境管理責任者	照査：環境管理責任者	照査：環境管理責任者

（神戸本社）

［様式-４］

2023年9月期 環境目標及び環境活動実施計画書

χ：目標の達成度
○：100%≦χ
△：70%≦χ＜100%
×：χ＜70%

2023/1/19

承　認	点　検	作　成
高嶋	小林	鶴田

項目	環境目的（環境方針）	課　題（何を）	具体的方法（どのように）	2022年9月の平均を基準(BM)とした達成基準(どこまで) 基準(BM) 2022年度9月期	目標 2023年度9月期	目標 2024年度9月期	目的 2025年度9月期	責任者（誰が）	目標／実績	日程（いつまでに） 第１四半期 10月	11月	12月	評価	第２四半期 1月	2月	3月	評価	第３四半期 4月	5月	6月	評価	第４四半期 7月	8月	9月	評価
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・カタログ、新聞紙等の廃棄物の分別を開始し、リサイクルに取り組む事で廃棄物を減少させる	901kg/年	目標維持（901Kg）	目標維持（901Kg）	目標維持（901Kg）	鶴田	目標	225 Kg 200%				225 Kg 200%				225 Kg 200%				225 Kg 200%			
									実績		Kg エネルギー管理表参照				Kg エネルギー管理表参照				Kg エネルギー管理表参照				Kg エネルギー管理表参照		
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙（バージン紙）	・裏紙の再利用 ・電子承認システムの適用範囲拡大（各種申請、出張報告などの電子化） ・プロジェクタ使用やWeb会議の更なる活用によりペーパーレス化を全社推進	520kg/年	目標維持（520Kg）	目標維持（520Kg）	目標維持（520Kg）	鶴田	目標	130Kg 紙類の削減 使用済み封筒の再利用				130Kg 紙類の削減 使用済み封筒の再利用				130Kg 紙類の削減 使用済み封筒の再利用				130Kg 紙類の削減 使用済み封筒の再利用			
									実績		200%				200%				200%				200%		
	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示 ・トイレ擬似音の活用	－	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	鶴田	目標	節水表示の徹底				節水表示の徹底				節水表示の徹底				節水表示の徹底			
									実績																
省エネ	電気使用量の削減 二酸化炭素排出量の削減	事務所電気の使用	・コストだけではなくエコにつながる機器の導入 ・空調の適温化（冷房28度程度、暖房22度程度） ・社用車の代替	51207kwh/年	目標維持（51207Kwh）	目標維持（51207Kwh）	目標維持（51207Kwh）	鶴田	目標	12,802 kwh 200%				10,241 kwh 200%				12,802 kwh 200%				15,362 kwh 200%			
									実績		kwh エネルギー管理表参照				kwh エネルギー管理表参照				kwh エネルギー管理表参照				kwh エネルギー管理表参照		
	輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	・クレーム台帳への記入、管理（クレーム台帳の電子化済み）	3.22%	目標維持（3.22%）	目標維持（3.22%）	目標維持（3.22%）	鶴田	目標	3.22 % 200%				3.22 % 200%				3.22 % 200%				3.22 % 200%			
									実績		%				%				%				%		
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	社内システムにSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	鶴田	目標	実施				実施				実施				実施			
									実績																
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業者への教育手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	１００％受講	１００％受講	１００％受講	鶴田	目標																
									実績																

上期	環境経営最高責任者コメント欄	〈コメント〉	〈コメント〉	〈コメント〉	〈コメント〉
年度	環境経営最高責任者コメント欄	照査：環境管理責任者	照査：環境管理責任者	照査：　環境管理責任者	照査：環境管理責任者

【6】環境関連法規の一覧

No.	法令等 法条例の名称	条　　項 （内容及び基準）	適用される施設・物質等と該当する環境影響内容 （適用施設・業務内容等）	当該要求事項 （規制事項）	遵守状況	評価結果	確認時期	確認者
1	廃棄物処理及び清掃に関する法律	第14条 （産業廃棄物処理業）	◇許可を受けた廃棄物処理業者との契約をすること。 ◇産業廃棄物の処理にあたっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、収集運搬業者及び処分業者それぞれと委託契約を締結している。	ビル管理会社及び同委託業者との契約書・業者の許可証の確認	契約書・許可書の確認	○	2022年5月27日	片倉
2	消防法 東京都震災対策条例 火災防止条例	第五十条の三	新橋２丁目MTビル	火災訓練参加 防火管理者の選定	火災訓練実施記録 防火管理者（伊藤支店長）選定、確認	○	2022年5月27日	片倉
3	消防法 神戸市火災予防条例	第8条1項 神戸市火災予防条例　第50条の6	明石町3丁目明海ビル	火災訓練 防火管理者の選定	火災訓練実施記録 防火管理者(添田取締役)の選定	○	2022年5月27日	鶴田
4	名古屋市火災予防条例	火災予防条例第4章	栄1-2-7　名古屋東宝ビル	第4章避難及び防火の管理等	火災訓練実施記録 防火管理者(木村理事支店長)選定、確認	○	2022年5月27日	村瀬

【7】環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2022年9月30日　環境関連法規制の遵守評価をした結果
違反はありません。また、関係当局からの指摘についても過去3年間ありません。

同様に訴訟についても過去3年間ありません。

【8】環境経営責任者による全体評価と見直し

パンデミックの営業により、一部のテレワークの影響で、ペーパーレス化が進み、
コピー用紙の購入量が減少に転じたが、事務所の電気・ガスの使用量に関しては
人員の増減に関わらず、ビル管理の空調設備の影響が大きく、引き続き 使用量が増えないよう、
こまめに管理していくこと。
一部で廃棄物が目標を上回っているので、
ゴミ袋の使用数などを基にした廃棄物目標設定などを引き続き検討すること。

項　　目	変更の要否	システムの変更に関する決定・処置 （改善の機会含む）
環境方針	要・(否)	環境方針を継続する。
環境目的・目標	(要)・否	今回の3か年計画で目標値を見直し
環境マネジメントシステムの その他の要素	要・(否)	JIS Q 9100(ISO 9001)を引続き認証継続している。

環境への負荷の状況（取りまとめ表）

2023/1/10

		単位	2008年 9月期	2009年 9月期	2010年 9月期	2011年 9月期	2012年 9月期	2013年 9月期	2014年 9月期	2015年 9月期	2016年 9月期	2017年 9月期	2018年 9月期	2019年 9月期	2020年 9月期	2021年 9月期	2022年 9月期
①　総エネルギー投入量	購入電力（東京）	MJ	980,316	896,211	1,064,294	966,957	895,346	814,848	777,553	765,452	712,282	710,581	690,813	623,723	635,193	592,093	696,616
	購入電力（中部）	MJ							315,268	308,367	321,677	335,075	330,042	325,039	330,268	363,867	357,242
	購入電力（神戸）	MJ							490,409	472,754	438,074	465,903	455,925	464,448	460,319	475,192	552,859
	化石燃料（東京）	MJ	779,414	730,774	1,246,244	986,438	907,607	837,049	720,475	702,338	648,975	624,266	706,188	616,302	583,284	341,026	459,191
	化石燃料（中部）	MJ							543,471	511,255	463,256	417,986	501,888	534,877	698,105	753,537	445,203
	化石燃料（神戸）	MJ							118,412	117,762	114,040	91,754	73,864	72,215	60,049	62,228	73,900
	新エネルギー	MJ															
	その他	MJ															
②　総物質投入量	資源投入量	t															
	循環資源投入量	t															
③　水資源投入量	上水	m^3															
	工業用水	m^3															
	地下水	m^3															
【④　温室効果ガス排出量】	二酸化炭素（東京）	Kg-CO_2	78,340	72,585	106,861	89,593	82,701	75,896	72,054	66,566	61,818	60,529	63,639	56,233	54,910	40,544	50,137
	二酸化炭素（中部）	Kg-CO_2							44,619	42,200	39,747	38,425	20,916	43,906	51,565	66,431	43,489
	二酸化炭素（神戸）	kg-CO_2							26,803	26,081	24,498	24,072	22,488	25,505	21,730	22,448	29,420
⑤　化学物質排出量・移動量	大気への排出量	t															
	公共用水域への排出	t															
	土壌への排出	t															
⑥　総製品生産量又は 総製品販売量	製品生産量	t															
	環境負荷低減に資する製品	t															
	容器包装使用量	t															
【⑦　廃棄物等総排出量】	再使用	KG															
	再生利用	KG															
	熱回収	KG															
	単純焼却	KG															
	その他	KG															
⑧　廃棄物最終処分量	最終処分量（東京支店）	kg											800.00				
	最終処分量（中部支店）	kg											803.00				
	最終処分量（神戸本社）	kg											906.44				
⑧　産業廃棄物	最終処分量（東京支店）	kg											12.6				
	最終処分量（中部支店）	kg											12183.0				
	最終処分量（神戸本社）	kg											178.5				
【⑨　総排水量】	公共用水域	m^3															
	下水道	m^3															
	BOD	g															

※排出係数　：　東京電力 0.434 Kg-CO2/kWh　／　中部電力 0.449 Kg-CO2/kWh　／　関西電力 0.435 Kg-CO2/kWh